2027年3月期 第2四半期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2027 SECOND QUARTER FINANCIAL RESULTS



MAZDA CX-5

2026年11月9日

マツダ株式会社

本日の説明内容

- 2027年3月期　第2四半期累計　実績
- 2027年3月期　通期見通し
- まとめ

注：本資料において当期純利益・損失は、親会社株主に帰属する当期純利益・損失を示す

2027年3月期　第2四半期累計　実績

第2四半期累計実績 総括

- グローバル販売台数 61万7千台、対前年1%増
  連結出荷台数 58万4千台、対前年8%増
- 売上高 2兆6,881億円、対前年20%増
  第2四半期累計として過去最高
- 営業利益 591億円、前年から1,130億円の大幅改善
  売上高営業利益率 2.2%
- CX-5を含む新型車が主要市場での販売増をけん引
- 米国市場での成長継続。フリート販売*抑制の中でも、過去最高の販売台数を実現し、シェアを拡大

*法人向け販売

2027年3月期　第2四半期累計　台数実績

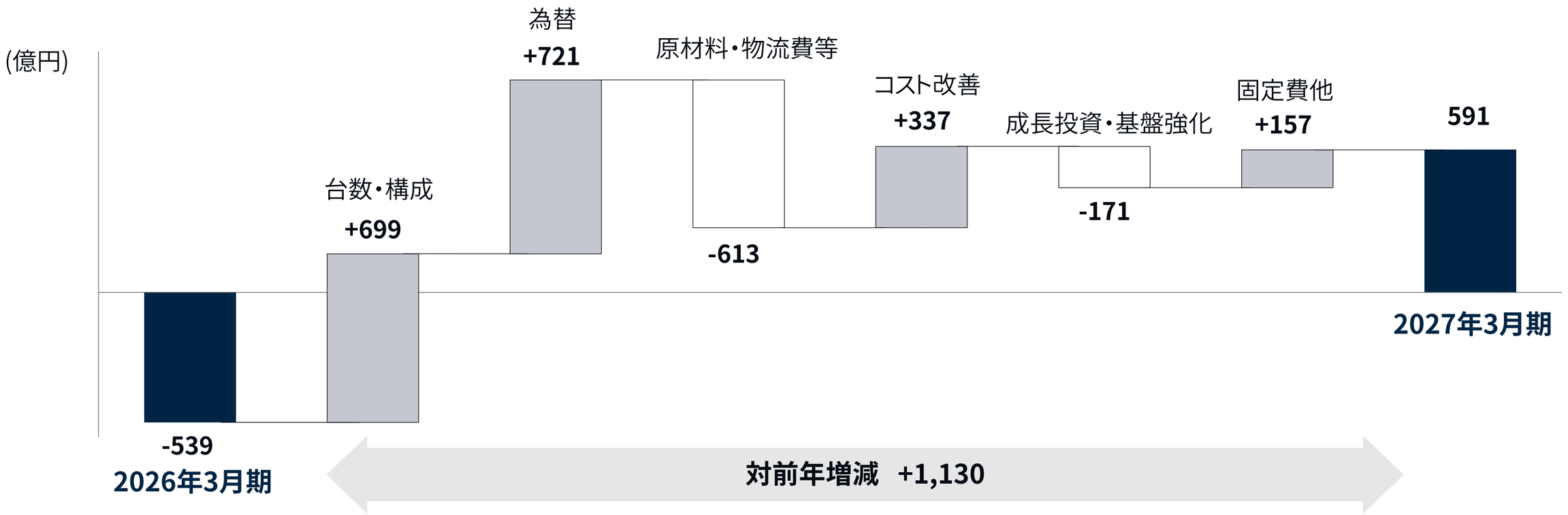
(千台)	2026年3月期	2027年3月期			対前年増減	
	第2四半期累計	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第2四半期累計	
生産台数※	**555**	**296**	**294**	**590**	**+35**	**+6%**
グローバル販売台数						
日本	**68**	**33**	**39**	**72**	**+4**	**+6%**
北米	**306**	**154**	**157**	**312**	**+5**	**+2%**
欧州	**74**	**43**	**42**	**85**	**+12**	**+16%**
中国	**32**	**18**	**16**	**34**	**+2**	**+6%**
その他市場	**129**	**56**	**57**	**113**	**-16**	**-12%**
合計	**609**	**304**	**312**	**617**	**+8**	**+1%**
米国	**209**	**107**	**108**	**216**	**+6**	**+3%**
オーストラリア	**45**	**19**	**18**	**37**	**-8**	**-18%**

※月次公表ベース（中国を含むグローバル生産台数/OEM受給車両は含まない）

2027年3月期　第2四半期累計　財務指標

(億円)	2026年3月期	2027年3月期			対前年増減	
	第2四半期累計	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第2四半期累計	
連結出荷台数 (千台)	543	280	304	584	+41	+8%
売上高	22,385	12,857	14,024	26,881	+4,496	+20%
営業利益	-539	328	263	591	+1,130	-
経常利益	-213	428	300	728	+941	-
当期純利益	-453	296	146	442	+895	-
売上高営業利益率	-2.4 %	2.6 %	1.9 %	2.2 %	+4.6 pts	
EPS (円)	-71.8	47.0	23.1	70.1	+141.9	
為替レート (円)						
USドル	146	160	159	159	+13	
ユーロ	168	185	183	184	+16	
タイバーツ	4.47	4.90	4.80	4.85	+0.38	
メキシコペソ	7.67	9.18	9.24	9.21	+1.54	

2027年3月期　第2四半期累計　営業利益変動要因（対前年比較）



台数・構成	+699
台数構成・価格	+700
販売奨励金	-294
関税影響	+313
その他	-20

為替	+721
USD	+155
EUR	+116
AUD	+154
THB	-43
MXN	+108
その他	+231

原材料費・物流費等	-613
原材料費	-553
物流費	-60

コスト改善	+337
ベースCI	+70
構造的原価低減	+267

成長投資・基盤強化	-171
ITセキュリティ	-10
広告宣伝費	-161

固定費他	+157
研究開発費	+37
減価償却費	-21
品質関連費用	-68
その他	+209

2027年3月期　通期見通し

通期見通し 総括

- グローバル販売台数129万7千台、前回公表から2万7千台減
- 営業利益は1,500億円の見通しを据え置き
- 台数・構成、為替、原材料、固定費等の前提を見直し
- 市場・競争環境など事業環境の不透明要因を注視
- 通期見通し達成に向け、リスクを適切にマネジメントしつつ
  コントロール可能な領域に集中し、販売・収益改善とコスト改善を加速

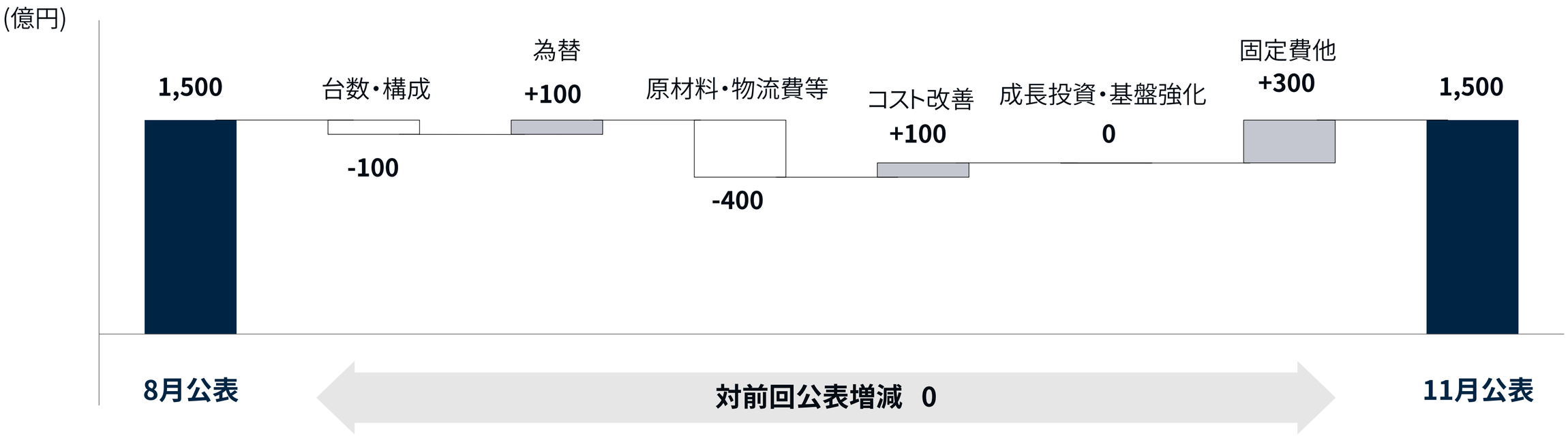
2027年3月期　通期　台数見通し

(千台)	2026年3月期	2027年3月期			対前年増減		対8月公表増減
	通期	上期	下期	通期	通期		通期
グローバル販売台数							
日本	144	72	80	153	+9	+6%	-
北米	582	312	319	630	+49	+8%	+2
欧州	164	85	109	194	+30	+18%	-3
中国	71	34	35	69	-3	-4%	-2
その他市場	262	113	138	252	-10	-4%	-23
合計	1,223	617	680	1,297	+75	+6%	-27
米国	395	216	221	437	+43	+11%	+2
オーストラリア	89	37	46	83	-5	-6%	-17

2027年3月期　通期　財務指標

(億円)	2026年3月期	2027年3月期			対前年増減		対8月公表増減
	通期	上期	下期	通期	通期		通期
連結出荷台数 (千台)	1,147	584	624	1,208	+60	+5%	-26
売上高	49,182	26,881	28,119	55,000	+5,818	+12%	-
営業利益	516	591	909	1,500	+984	+191%	-
経常利益	1,318	728	872	1,600	+282	+21%	+200
当期純利益	351	442	458	900	+549	+157%	-
売上高営業利益率	1.0 %	2.2 %	3.2 %	2.7 %	+1.7 pts		- pts
EPS (円)	55.6	70.1	72.5	142.6	+87.0		-0.1
為替レート (円)							
USドル	151	159	157	158	+7		+3
ユーロ	175	184	176	180	+6		0
タイバーツ	4.67	4.85	4.66	4.75	+0.08		-0.05
メキシコペソ	8.16	9.21	9.02	9.11	+0.95		+0.22

2027年3月期　通期　営業利益変動要因（対8月公表比較）



台数・構成	-100
台数構成・価格	+100
販売奨励金	-300
関税影響	+12
その他	+88

為替	+100
USD	+70
EUR	-26
AUD	-24
THB	+20
MXN	+19
その他	+41

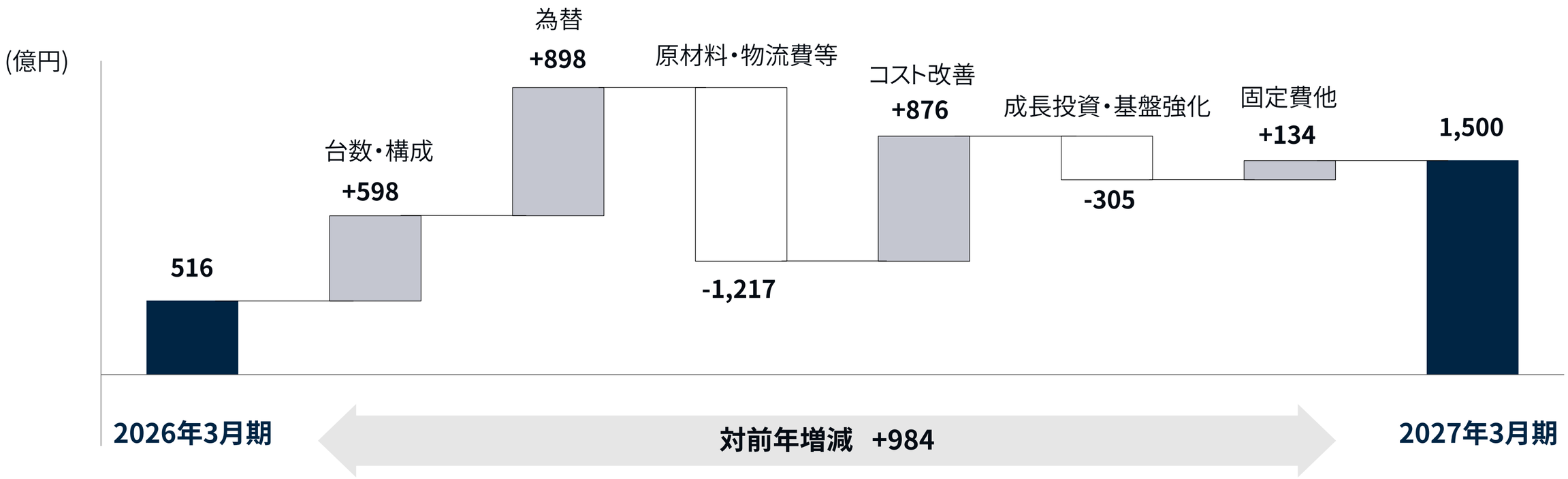
原材料費・物流費等	-400
原材料費	-368
物流費	-32

コスト改善	+100
ベースCI	+46
構造的原価低減	+54

成長投資・基盤強化	-
ITセキュリティ	-
広告宣伝費	-

固定費他	+300
研究開発費	-
減価償却費	-
品質関連費用	+50
その他	+250

2027年3月期　通期　営業利益変動要因（対前年比較）



台数・構成	+598
台数構成・価格	+724
販売奨励金	-300
関税影響	+149
その他	+25

為替	+898
USD	+171
EUR	+56
AUD	+250
THB	-12
MXN	+152
その他	+281

原材料費・物流費等	-1,217
原材料費	-1,108
物流費	-109

コスト改善	+876
ベースCI	+341
構造的原価低減	+535

成長投資・基盤強化	-305
ITセキュリティ	-74
広告宣伝費	-231

固定費他	+134
研究開発費	0
減価償却費	0
品質関連費用	-219
その他	+353

通期営業利益目標の達成に向けた重点施策

- コントロール可能なすべての領域で、販売・収益改善とコスト・固定費改善を加速

販売・収益改善

- 新型CX-5、MAZDA6e、CX-6eを中心とした出荷の拡大
- 価格・車種構成の改善
- インセンティブ管理の徹底



コスト・固定費改善

- 構造的原価低減の取り組みを加速

新型CX-5でのパートナーとの共創事例

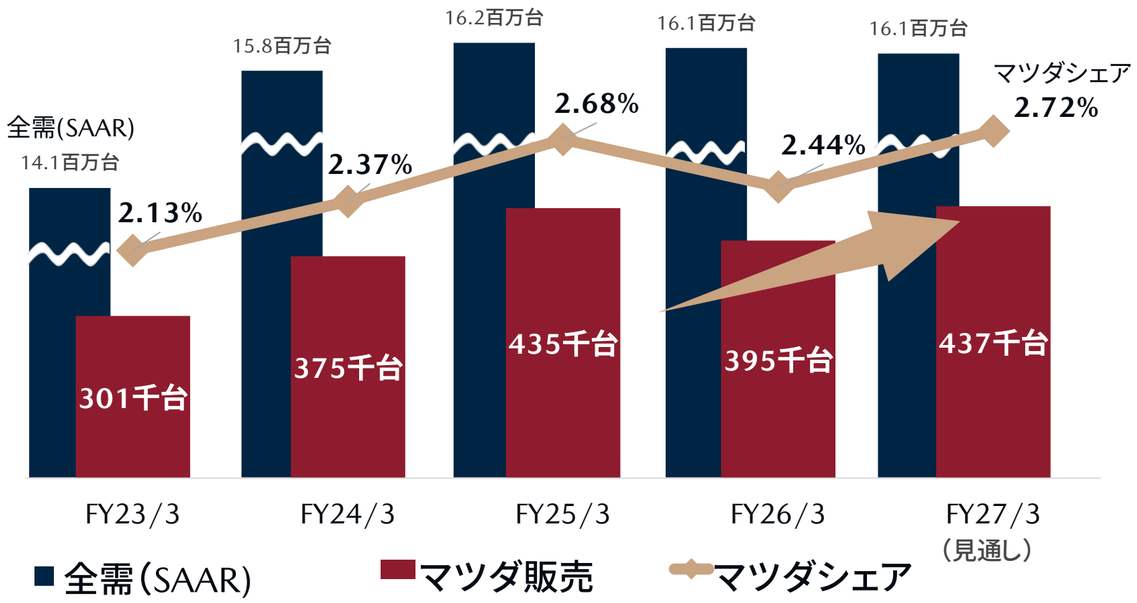
✓ 日本製鉄様
材料・設計段階から価値創造と原価低減を両立
鋼材重量を1割削減

✓ 矢崎総業様
ワイヤーハーネスの種類数を8割削減し
近場化・自動化を推進

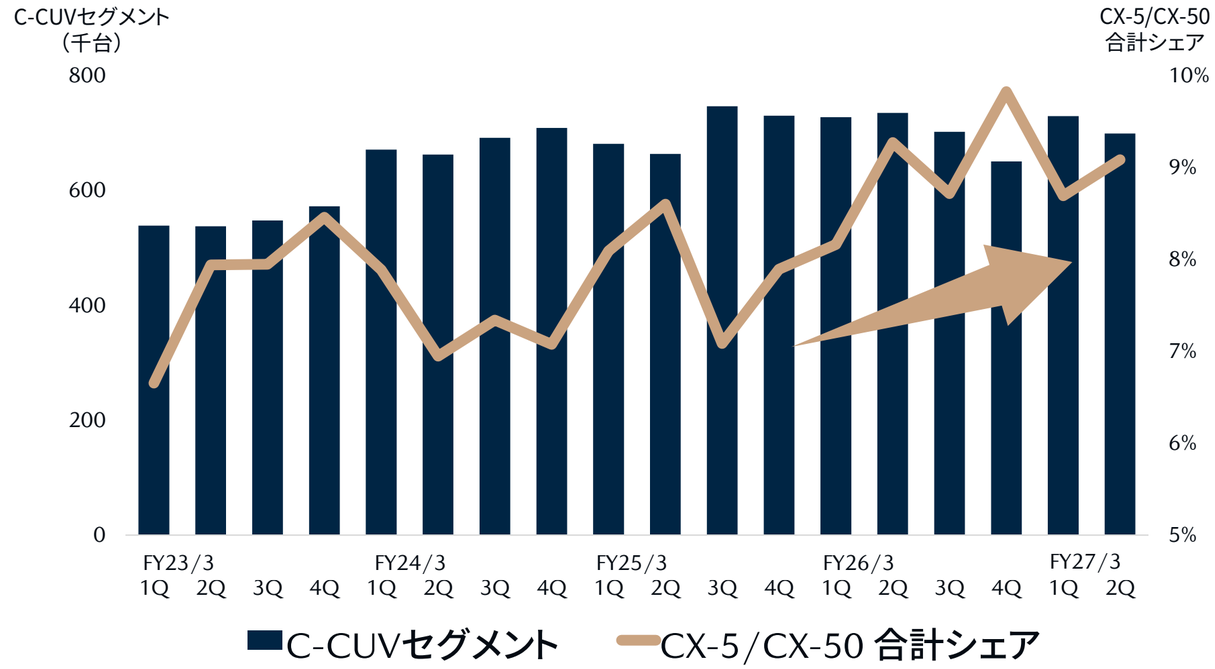
- 固定費の削減・抑制を継続
- 成長投資の選別と効率化

米国販売環境

全需推移
マツダ販売台数・シェア推移



C-CUVセグメント推移
マツダシェア推移(CX-5/CX-50合計)

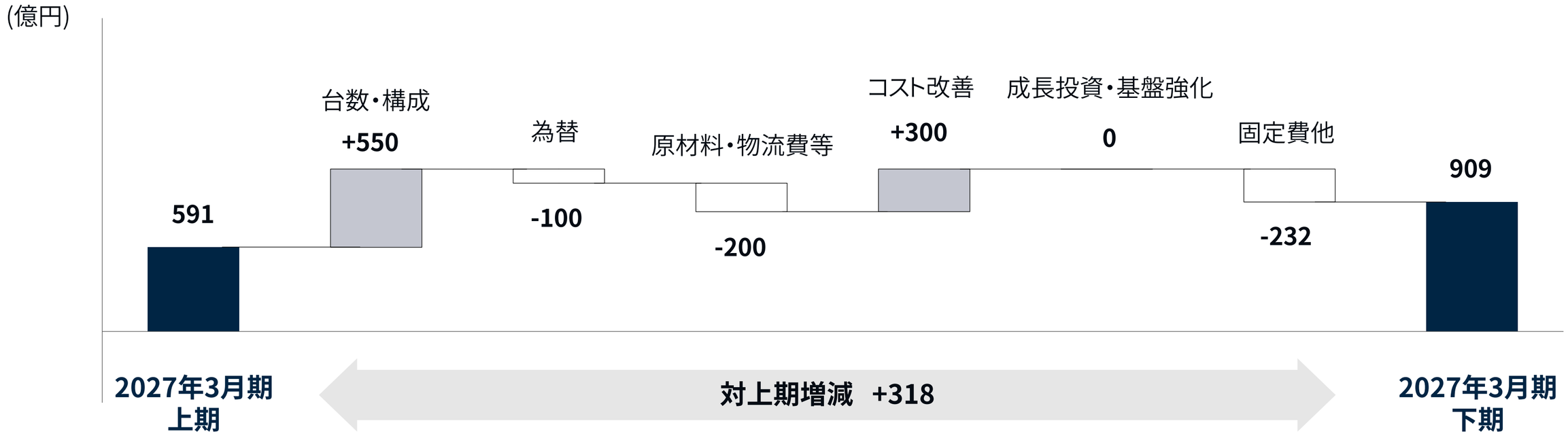


- 厳しい市場環境が継続する中でも、販売モメンタムを維持し販売増を実現
- CX-5、CX-50によりC-CUV市場のセグメントシェアを拡大
- ブランド認知の向上、価格・ミックス改善を通じて、収益性の更なる向上を図る

Source: Mazda North American Operations and Motor Intelligence

2027年3月期　営業利益変動要因　上期下期比較

- 下期営業利益は、対上期で318億円増の909億円を見込む
- 出荷増、価格・車種構成の改善により、台数・構成で大幅な増益を計画
- 原材料費等の悪化に対し、構造的原価低減をはじめとするコスト改善を加速



事業環境の不透明要因

- 市場・競争環境など、事業環境の不確実性に引き続き注視が必要
  - バッテリーEV需要の拡大、インフレによる市場競争の激化、消費者需要の変化
  - 地政学リスクおよびエネルギー・原材料価格の高騰
  - 関税政策や環境規制を含む各国政策の変化

不透明要因を注視し、リスクを適切にマネジメント
重点施策を着実に推進し、収益改善を図る

まとめ

まとめ

- 売上高は第2四半期・第2四半期累計ともに過去最高
- 第2四半期累計の営業利益は591億円、対前年で大幅改善
- 販売環境・収益構造の変化を織り込み、通期営業利益1,500億円の見通しを据え置き
- 新型CX-5/MAZDA6e/CX-6eを中心とした出荷拡大、価格・車種構成の改善、コスト・固定費改善を下期に加速
- 通期見通し達成に向け、リスクを適切にマネジメントし、重点施策を着実に推進

MAZDA

添付

第2四半期累計実績および今後の重点取り組み―日本市場

- 第2四半期累計実績: 7万2千台（対前年6%増）
- 新型CX-5に加え、MAZDA2（対前年7%増）、ロードスター（対前年3%増）が販売増をけん引
- 新型導入により、CX-5販売台数は対前年で2倍超の20，095台と順調に推移
  新規顧客や若年層のお客さまが増加
- 販売会社の利益は大きく改善。国内ビジネス構造変革が着実に進展
- ブランド価値経営を基軸に据えた国内ビジネス構造変革の重点施策は計画通りに進捗

① 都市圏重点エリアでの販売網再編/新世代店舗化
　新ブランドシンボルを採用した店舗デザインにアップデート

② 新他獲得のためのマーケティング変革
　ブランドアンバサダーを起用したマーケティング強化

③ ブランド浸透によるリテールオペレーション変革
　「マツダブランドアカデミー」の本格展開開始

④ 変革を支える組織・人事・風土変革
　組織風土変革取り組み「BLUEPRINT」を販売店へ展開



第2四半期累計実績および今後の重点取り組み―北米市場

米国

- 第2四半期累計実績: 21万6千台（対前年3%増）。過去最高の販売台数
- 新型導入によりCX-5の個人向け販売が順調に伸長（対前年4%増）セグメントシェア改善
- マツダブランドの再購入率や推奨意向指数は着実に改善
- 低価格で燃費のよい車への需要シフトを捉えMAZDA3が台数増をけん引
  ハイブリッド需要を受けたCX-50も好調。新型CX-5とともに、更なる台数拡大を目指す

カナダ

- 第2四半期累計実績: 4万1千台（対前年14%減）、米国生産のCX-50の販売減が要因
  ラージ商品の機能訴求、新型CX-5のお客さま価値強化により下期以後拡販につなげる

メキシコ

- 第2四半期累計実績： 5万4千台（対前年11%増）。新型CX-5、CX-30等が台数増に寄与
- ブランド価値経営の推進により、強固な販売網を維持
  2026年9月に累計販売台数100万台を達成
- 新型CX-5およびCX-90 PHEVの好調な販売モメンタムを活用し下期拡販を狙う

第2四半期累計実績および今後の重点取り組み―欧州/中国市場

欧州

- 第2四半期累計実績：8万5千台（対前年16%増）
- 新型CX-5の受注は引き続き堅調に推移。デザイン・室内空間・快適性等に高い評価
  新規顧客層からの関心も拡大
- 各国政府の補助金政策や原油高によるBEV需要拡大の中、電動車MAZDA6e、8月から販売開始のCX-6eが台数増に寄与。需要変動に対し幅広いラインナップで対応

中国

- 第2四半期累計実績：3万4千台（対前年6%増）
- 市場縮小が続く中、EZ-60を中心に拡販し
  前年を上回る販売を達成。CX-5の販売も増加
- EZ-60の高度運転支援機能(L2++)搭載モデルを
  10月より発売



第2四半期累計実績および今後の重点取り組み―豪州/ASEAN市場

豪州

- 第2四半期累計実績：3万7千台（対前年18%減）
  需要は電動車や小型廉価モデルにシフトする中、ICEモデルを中心に前年比減
- 7月の新型CX-5、MAZDA6e本格販売開始に加え、11月よりCX-6eの販売開始
  需要変動に対応しながら、試乗機会の強化など、廉価セグメントと一線を画し、ブランド価値を体現するマーケティング活動を進め、巻き返しを図る

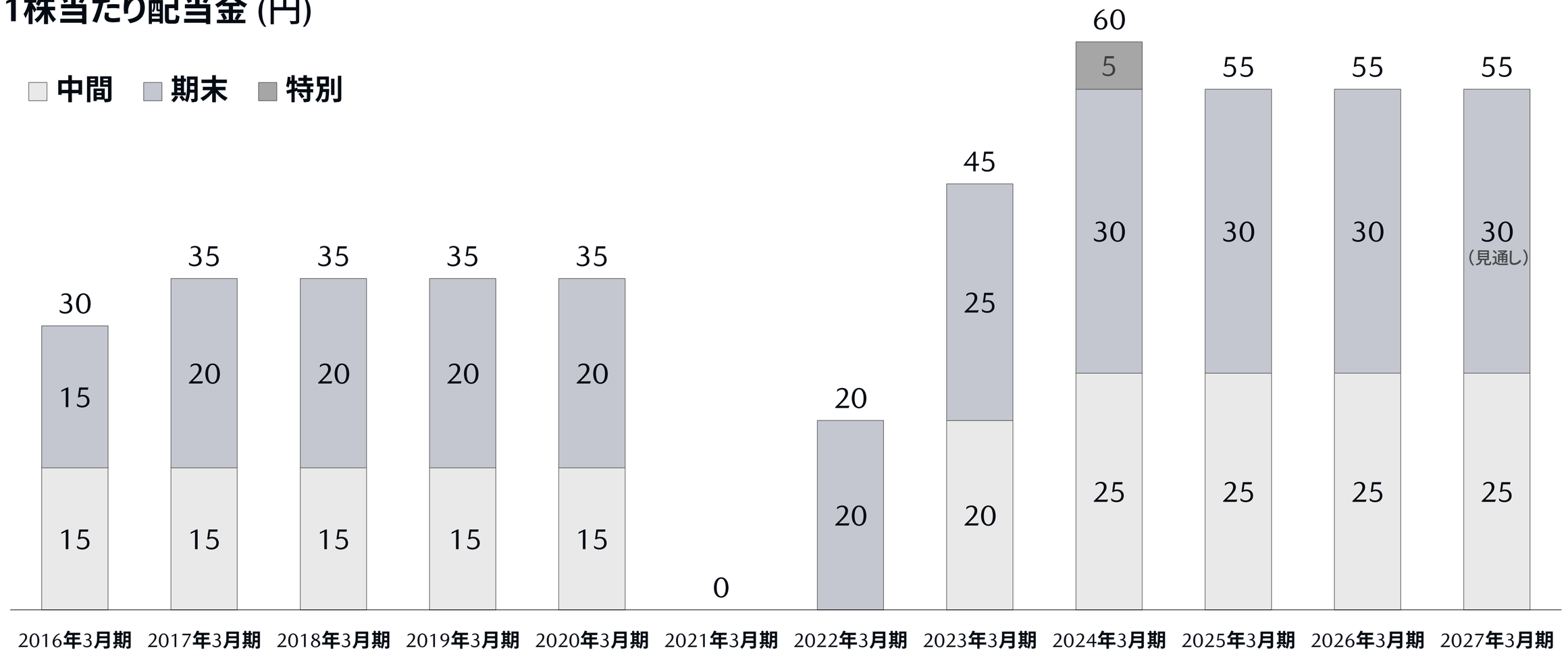
ASEAN

- 第2四半期累計実績：2万7千台（対前年1%増）
- タイでは10月よりCX-6eの販売を開始、MAZDA6eと共に
  電動車ラインナップの拡充を図り、BEVセグメントにおける
  認知向上および新規顧客獲得を目指す

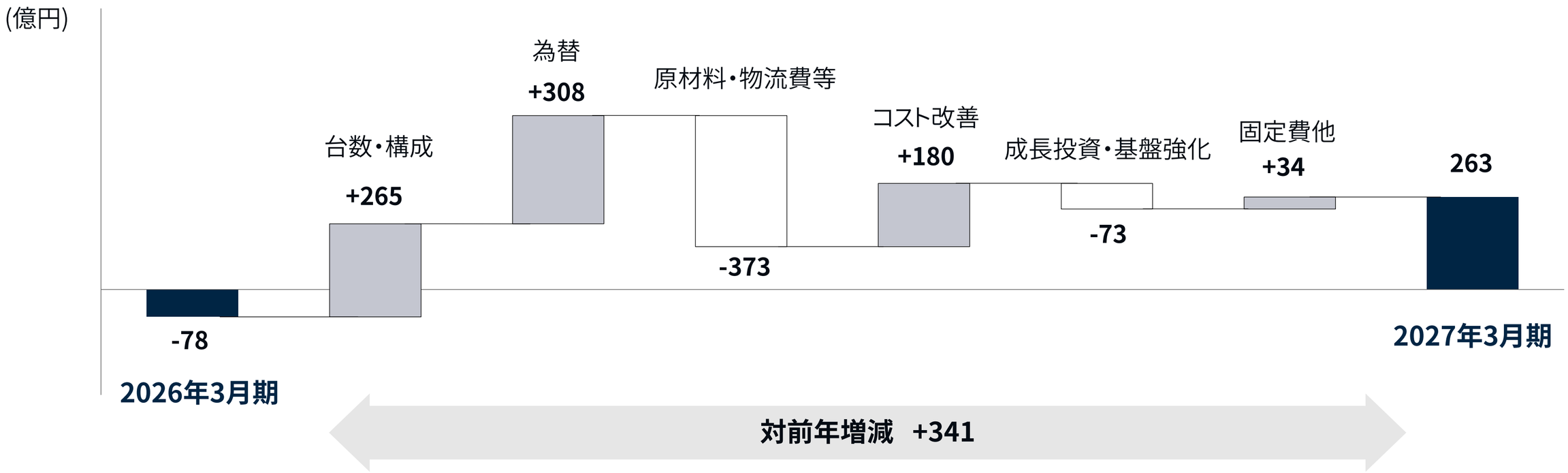

Auto Alliance Thailand（タイ工場）

- 次期CX-3生産に向けAAT(タイ工場）での量産準備は順調に進捗

配当について


1株当たり配当金 (円)
中間
期末
特別
30
15
15
35
20
15
35
20
15
35
20
15
35
20
15
0
20
20
45
25
20
60
5
30
25
55
30
25
55
30
25
55
30
(見通し)
25
2016年3月期
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期
2021年3月期
2022年3月期
2023年3月期
2024年3月期
2025年3月期
2026年3月期
2027年3月期

2027年3月期　第2四半期　営業利益変動要因（対前年比較）



台数・構成	+265
台数構成・価格	+336
販売奨励金	-85
関税影響	+110
その他	-96

為替	+308
USD	+57
EUR	+50
AUD	+68
THB	-11
MXN	+48
その他	+96

原材料費・物流費等	-373
原材料費	-304
物流費	-69

コスト改善	+180
ベースCI	+32
構造的原価低減	+148

成長投資・基盤強化	-73
ITセキュリティ	-6
広告宣伝費	-67

固定費他	+34
研究開発費	-8
減価償却費	-3
品質関連費用	-43
その他	+88

2027年3月期　第2四半期累計　連結出荷台数　実績

(千台)	2026年3月期	2027年3月期			対前年増減	
	第2四半期累計	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第2四半期累計	
連結出荷台数						
日本	70	33	36	69	-1	-2%
北米	289	159	155	314	+26	+9%
欧州	63	32	52	84	+21	+34%
その他市場	121	56	60	116	-5	-4%
合計	543	280	304	584	+41	+8%
米国	189	108	107	216	+27	+14%
豪州	43	16	19	35	-9	-20%

2027年3月期　通期　連結出荷台数　見通し

(千台)	2026年3月期	2027年3月期			対前年増減		対8月公表増減
	通期	上期	下期	通期	通期		通期
連結出荷台数							
日本	142	69	76	145	+3	+2%	-2
北米	581	314	324	638	+57	+10%	+6
欧州	169	84	96	181	+12	+7%	-3
その他市場	254	116	127	244	-11	-4%	-26
合計	1,147	584	624	1,208	+60	+5%	-26
米国	391	216	228	444	+52	+13%	+4
豪州	89	35	43	78	-11	-12%	-20

2027年3月期　キャッシュ・フローおよびネット・キャッシュ

(億円)	2026年3月期		2027年3月期
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	-1,979	2	408
投資キャッシュ・フロー	471	-9	-511
フリー・キャッシュ・フロー	-1,507	-6	-103

(億円)	2025年9月末	2026年3月末	2026年9月末
現金及び現金同等物	10,533	12,932	12,058
有利子負債	8,021	8,501	8,077
ネット・キャッシュ	2,512	4,430	3,981
総資産	40,279	44,795	43,885
自己資本	17,409	19,056	19,140
自己資本比率	43 %	43 %	44 %

為替レート（期中平均）

（円）	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減	対8月公表増減
	通期	通期	通期	通期
USドル	151	158	+7	+3
ユーロ	175	180	+6	0
カナダドル	109	113	+4	-1
オーストラリアドル	100	112	+13	0
英ポンド	202	212	+10	+4
タイバーツ	4.67	4.75	+0.08	-0.05
メキシコペソ	8.16	9.11	+0.95	+0.22

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承願います。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。